

2005.10月号

NIPPON GOOD PARTS

# NGP NEWS

No.174

NGPシステムとJAPRAシステムが相互利用スタートへ!!

## 国内最大のリサイクル部品 在庫流通システムが誕生!!

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合と日本自動車リサイクル部品販売団体協議会(北口賢二会長)は、このほど両団体の保有するリサイクル部品在庫流通システムを両団体所属会員(組合員)が相互に利用し合うことについて協議、基本合意し、9月13日に第一ホテル東京(東京・新橋)で発表を行いました。

### 流通在庫拡大でさらに利便性が向上

今回、大手リサイクル部品サプライヤー団体である両者の在庫流通システムの相互利用開始は、リサイクル部品を利用する整備工場、板金工場などのリサイクル部品利用者にとっては在庫点数も増え、さらに複数の流通在庫システムへの問い合わせも必要になるなど、利用効率に大きく貢献、利便性は大きく向上することになります。

両者は、リサイクル部品の品質基準・保障基準の統一化、システム利用の高度化等の専門委員会を立ち上げ、将来的に両システムの統合化も視野に入れた協議を目指しています。

NGPの青木勝幸理事長は今回のシステムの相互利用合意について「新NGPシステムとJAPRAシステムの相互利用開始によって、整備工場様などには今まで以上に高いヒット率でリサイクル部品を供給できる体制ができました。もちろん品質基準の統一などの問題は今後の課題ですが、リサイクル部品マーケットが拡大し、安心してたくさんの部品を整備工場の方々に使っていただけるよう今回

のような取り組みをこれからも積極的に行っていきます。」と語り、今後も整備工場などがリサイクル部品を積極活用できるような仕組み作りに力を注いでいくとしました。

日本自動車リサイクル部品販売団体協議会は、平成7年の創設以来、リサイクル部品流通団体の枠を超えたシ

ステムの共同利用を目指し、平成11年には当時の通商産業省の支援により、初のインターネット方式による電子商取引実証事業を実施、平成14年に待望の業界統合型のJAPRAシステムを稼働させました。

一方、NGPは単独の組織としては日本最大のリサイクル部品流通団体として、平成16年に国内唯一の経済産業大臣認可の事業協同組合として組織を法人化。今年6月からは新しいリサイクル部品在庫流通システム「新NGPシステム」



日本自動車リサイクル部品販売団体協議会の北口賢二会長と笑顔で握手する青木勝幸理事長

を独自で開発し、運用を開始しました。

両団体では、インターネットを通信ベースとした両システムが本格稼働に入ったことから、相互利用へ踏み切ることになりました。流通に伴う諸条件をクリア次第、実施することになります。

業界内でも、オビニオンリーダーとして行政などとも大きなパイプを持つ今回の両団体のシステム相互利用により、共有在庫は300万点となり、リサイクル部品の需要喚起と市場拡大に向けて、大きな期待が寄せられています。

# 今年も台風による水害が発生!!

## 各県のNGP組合員が水没車引き上げで支援活動

9月上旬に全国を縦断し、九州地方などに大きな被害をもたらした台風14号の影響で今年も多くの車両が水害による被害を受けました。

特に被害が深刻であった宮崎県や鹿児島県、山口県の岩国市などでは未だに懸命な復旧作業が行われています。

昨年、北陸や四国・山陰地方で相次いで発生した水害被害では動かなくなった水没車が道路を塞ぐなどして、復旧作業の妨げとなるケースもありました。

NGPでは、すぐに本部と現地のNGP組合員と対応を協議し、水害車の引取体制を構築、損保会社等と協力して復興支援活動の協力を開始しました。

被害の大きかった宮崎県では水害車の引上車輛が200台くらいまで上ることも予想され、NGPでは被災者の方々が少しでも負

担を減らせるように被災地の早期復旧と復興支援のために早い水害車輛の撤去に取り組んでいきます。



N G P  
水害対策車両  
昨年の水害時も各地で活躍した

## 顧客の要望に応えるためにリサイクル部品を活用!!

### 認知度ではNGPが業界NO.1

#### 全部連がリサイクル部品の使用実態を調査

全国自動車部品販売店連合会（佐藤昭弘会長）は「中古部品・再生（リビルト）部品の使用実態調査」を行い、この程その中間報告を発表しました。

これは、今年1月から施行となった自動車リサイクル法の影響から今後、リサイクル部品への注目度が上がり、流通量も増えることが予想されることなどから、現在、カーディーラー、整備専業工場、板金工場などがリサイクル部品をどのように活用して、どのくらい使用しているか？などをアンケート調査した結果の中間報告として同会から公表されたものです。

調査回答があったのは1,209社で、内訳はカーディーラー432社、整備専業工場334社、板金塗装工場141社、板金塗装を内製化している整備工場275社。

「顧客の要望で対応」が59.4%と18ポイント近く伸びています。

これはリサイクル法が施行される以前から整備工場などでは多くみられた傾向でエンドユーザーの環境意識の高まりとデフレ傾向の経済状況の中、少しでも安い修理料金を希望するユーザーが増えていることへの対応策だと思われます。

ただし、業態別の内容を見てみると整備専業のみでは「積極的に使用」が130件、「顧客の要望で対応」が212件であるのに対して、カーディーラーでは「積極的に使用」が42件、「顧客の要望で対応」が340件と回答、さらに「使用する意思なし」と回答した19件のうち、18件がカーディーラーでした。このようにカーディーラーと整備工場では中古部品の使用に対して、温度差がかなりあるようです。

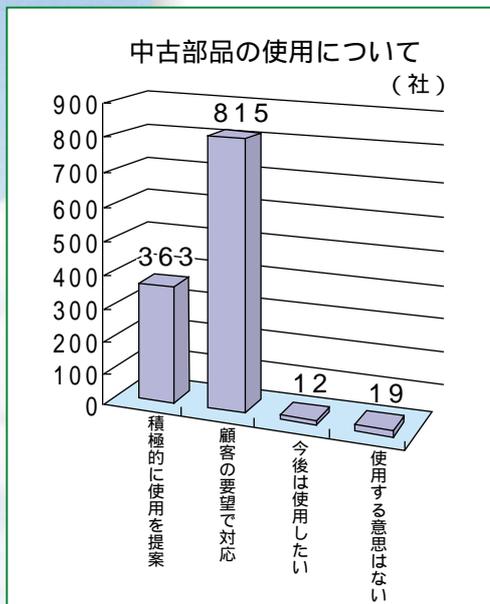
また、今回の調査ではリサイクル部品の使用量や月間仕入額などについても調査が行われました。

中古部品の月間使用量は全国平均で17.2個、金額では13万9,803円でした。その内訳は板金専業・板金併設が月間25個程度使用しているのに対して、整備専業では15.4個、カーディーラー9.6個と業態によって大きく使用量は異なっています。

また、中古部品販売のネットワーク認知についての調査では有効回答数978件の中707件、実に72.3%が「NGPグループ」と回答しており、NGPがカーアフターマーケットにおいて、多くの支持を得ていることが証明されました。

NGPでは、これからもお客様に喜ばれる良質なリサイクル部品を提供していきたいと思えます。

参考データ：中古部品・再生（リビルト）部品の使用実態調査【全国自動車部品販売店連合会】



中古部品の使用実態については「中古部品をお客様に積極的に使用を提案している」と回答したのは、363件（31.2%）で「顧客の要望で対応する」と回答した事業者が815件（70.0%）が最も多い結果となりました。前回、調査では整備工場他での平均は「積極的に使用」が41.5%、

# 自動車リサイクルコンタクトセンターに多く寄せられる質問について

最新版

自動車リサイクル促進センターでは、自動車リサイクルシステムコンタクトセンターに寄せられた質問の中から、数の多い質問について随時、ホームページ上などに公開して事業者やエンドユーザーが自動車リサイクルシステムを円滑に進めてもらうためのQ & A方式で回答しております。  
 今月は、使用済自動車の引取についての質問と回答が紹介します。

**Q1** 引き渡された車台の装備情報（フロン類、エアバッグ類）と、実車の装備情報が異なっていたらどうすれば良いですか？

**A1** 場合によっては対応方法が異なります。

【装備情報は「有り」だが実車には無い】

- ・引取報告を実施済み 自社の引取報告を取消した後、引取業者に装備情報の修正を要請して下さい。
- ・引取報告は未実施 引取業者に装備情報の修正を要請して下さい。

**Q2** 引取り・引渡し時の移動報告は、使用済自動車を実際に引き取った後及び引き渡した後、どれくらいで言えばよろしいですか？

【装備情報は「無」だが実車には有る】

- ・フロン類、エアバッグ類の装備分の料金が預託されている（引取報告を実施済み）
- ・フロン類、エアバッグ類の装備分の料金が預託されている（引取報告は未実施）

引取業者に装備情報の修正を要請して下さい。  
 【フロン類、エアバッグ類の装備分の料金が預託されていない】

- ・新たに預託を行って頂く必要があります。
- 引取業者にコンタクトセンターへ連絡し、必要な手続きを行うよう要請して下さい。



**A2** 引取り・引渡し時の移動報告は、使用済自動車を実際に引き取った後及び引き渡した後、速やかに（3日以内）行うことになっています。移動報告の遅滞は法律違反になるばかりでなく、次工程の事業者の業務にも支障をきたすこととなりますので、くれぐれもご注意ください。

<お問い合わせ先> 自動車リサイクルシステムコンタクトセンター 平日8:30～20:00 土日・祝日9:00～18:00 電話 03-5673-7396

## NGP 通信欄

17年7月31日  
加入



支部名 東海  
 社名 (株)ウイン  
 住所 愛知県岡崎市矢作町字出口41番地  
 TEL 0564-31-2800  
 代表者名 常務取締役 酒井清一

一言

当社は長年、板金整備、ディーラー事業など自動車事業に従事してまいりましたが、自動車リサイクル法の施行に伴い、昨年よりリサイクル事業部を立ち上げました。今後は培ってきたものを活かし、より多くの資源の循環に努めたいと思います。  
 現在は工場開設等、本格的な始動に向け準備をしておりますが、入会にあたっては、特に東海支部の組合員様をはじめとした諸先輩方に、心のこもったご指導をいただき、大変感謝しております。一日も早くオンライン登録会社として皆様のお役に立てるよう進めてまいります。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

17年7月31日  
加入



支部名 東海  
 社名 (有)富士クラッチ工業所  
 住所 三重県四日市市八田3丁目7番9号  
 TEL 0593-64-5252  
 代表者名 代表取締役 藤村博志

一言

この度、NGP日本自動車リサイクル事業協同組合に入会させて頂くことになりました有限会社富士クラッチ工業所と申します。  
 弊社は、自動車ライニング、クラッチ、ATミッションなど、さまざまなリビルト商品を生産し、地域自動車整備工場の皆様に、良質で安価な商品を提供してまいりました。この礎を元にNGPグループの皆様の高品質な生産商品の需要会社として、また供給会社として恥ずかしくないよう頑張っていく所存でございます。  
 入会に至るまでにご協力いただきました組合員の皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

17年7月31日  
加入



支部名 関西  
 社名 吉村エコパーツ  
 住所 大阪府羽曳野市大黒159-1  
 TEL 0729-58-3815  
 代表者名 工場営業責任者 吉村妙義

一言

この度はNGPのメンバーに加入させていただいた吉村エコパーツと申します。弊社は私の父が自動車解体事業を始めて、今年の8月でちょうど30年になりました。今までも、リサイクル部品の販売には力を入れてまいりましたが、NGPグループに加入し、さらにレベルアップして一からのスタートと考えています。先輩方々の会社を拝見させて頂き、自分も目標を持ってやっていきますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

### <組合員情報変更>

支部	会社名	変更内容	変更後	変更日
東北	(有)アイエス総合	組織	(株)アイエス総合	17年9月1日

NGPでは、高品質、高性能のリビルトパーツも各種取り揃えております。皆様どうぞご利用下さい。

NGPの高性能リビルトパーツシリーズ



エンジンコンピュータ



デジタルメーター

NGPだから  
信頼の高性能



バンパー



ガラス

NGPだから  
安心の品質保証

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合取り扱いリビルトパーツ一覧

分野	品目
外装・機能部品	エンジン、トランスミッション(AT・MT)、トルクコンバーター、ターボチャージャー、噴射ポンプ、キャブレター、パワーステアリング、ギアボックス、ラック&ピニオン、ドライブシャフト、ACコンプレッサー、パワステポンプ、シリンダーヘッド、バンパー、ECVTミッション、ラジエター、コンデンサー、ガラス
電装系部品	スターター、オルターネーター、エンジンコンピュータ、スピードメーター、デストリビューター、スロットルチャンバー

NGP リビルトメーカー会社 協力会メンバー

(株)阿部商会	いすゞ産業(株)	イトーパーツ(株)	ウラワ産業	(株)KSS	(五十音順)
(株)コーヨー	(株)ジェイ・シー・シー	ジャトコエンジニアリング(株)	ジャパンリビルト(株)	(株)ジー・ローバル	信越電装(株)
(株)ターボテクノサービス	(株)デルオート	東邦自動車(株)	(株)トランスラインコーポレーション	日本ウエア・ハウス(株)	(株)ハンコックタイヤジャパン
(株)フジリンクージ	(株)ハイワコーポレーション	ヤマト自動車硝子(株)	(株)ユニコ	(株)リビルトショップ	(株)ワイケイ

各種リビルト商品のご注文・お問い合わせは各NGP組合加盟店にご用命ください

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局  
 〒108-0074 東京都港区高輪3丁目19番26号 高輪光ビル5F  
 TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209  
 http://www.ngp.gr.jp

（株）NGP  
 〒108-0074 東京都港区高輪3丁目19番26号 高輪光ビル5F  
 TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201

